

サイバー攻撃への備えは十分ですか？

最近、日本在籍の企業がサイバー攻撃の被害にあったという報道を目にする機会が多くなってきました。主に大手企業のことが報じられていますが、サイバー攻撃は決して大企業だけの問題ではなく、中小企業も標的になっており、取引先情報や顧客情報が狙われるリスクは、全ての法人に存在します。

サイバー攻撃の主な種類は、マルウェアやランサムウェア、DDoS 攻撃等があります。これらの攻撃により、会社内でのシステム停止や様々な情報が漏洩することは非常に大きなリスクであり、経営そのものに直結する危機を招きかねません。こうしたリスクを分散させる上で重要になるのが「フォレンジック調査」や「サイバー保険」です。

フォレンジック調査とは、サイバー攻撃で被害が発生した際に、その原因や被害の範囲を特定するために実施されるものであり、再発防止策の策定や万一の訴訟時においても重要な証拠として活用されます。ただし、フォレンジック調査は高度な専門知識を要するため、その費用はパソコン 1 台当たり数十万円から数百万までと莫大なコストがかかります。

大手企業で被害が多発している影響もあり、サイバー保険への関心が高まっています。ある大手新聞会社の調査では、損害保険大手 4 社の 2025 年 4 月～9 月のサイバー保険の保険料収入は 223 億円と前年同期比で 5% 増加したとの事です。サイバー保険は、保険会社により補償内容や支払金額の上限が大きく異なります。そのため、自社にとって最適な補償を選択することが、コストを抑えつつ十分な備えを得るために必要となります。サイバー攻撃のリスクを正しく把握し、必要な保険に加入することで、万一の攻撃で被害が発生してもすぐに BCP（事業継続計画）が発動できる強固な体制づくりにつながっていくと考えられます。（高辻）



私は、ゴルフが好きです。でも相思相愛とはゆかず、ゴルフの方は迷惑至極のようです。ゴルフ歴は 30 年近くになります。回るのは好きなのですが、不届千万、練習には全く興味がありません。当然の結果として、驚異的に下手です。今日初めてクラブを握った人並みのスコアです。こんな私のスコアにも我慢して回ってくれる心優しい仲間に恵まれて 2 ヶ月に 1 回くらいのペースで回ります。もうやめれば？との声も聞こえないではありませんが・・・。

続けているのには私なりの理由があります。

それは、毎回一発くらい、私なりの「ヨッ今日イチ！」「えっ？」「どうしたの？」というのがあるのです。

それが、意外なヒントやイメージからショットとつながることがあるのです。

テレビを見ていて、教科書とは違うショットに驚き、新聞のゴルフ記事に勝手にひらめき、

それが当たるときがあるのです。ウッ、来た！

でも、しょせん、夢やイメージ、再現性は低く・・・続くことはありません。

やはり、自己満足ですね。

でも、だから、その一発を求めて、ゴルフは楽し、やめられないですね。

（石束）

